※令和４年度以降入学生用

学校番号	１１０

令和８年度　芸能文化科

教科	芸能文化	科目	演技表現法（放送）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主制作プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

アナウンスの実技を通じて、正しい日本語による表現を身につけてほしい。
放送とインターネットの融合について興味関心を待ってほしい。

２　学習の到達目標

（１）　テレビ放送に不可欠なアナウンス技能を習得する。

（２）　テレビ放送にとどまらず、今後はインターネットと放送の融合においての表現について考察する。

（３）　アナウンス技能を活用し自分を表現し、他者の魅力を引き出すことのできるインタビューを実践する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	アナウンスの基礎知識や技能を学び、正しく伝えることのできる力を身につける。	話す項目の順序を考え、効果的に伝えるための手法を試行錯誤し自ら表現していく力を身につける	インタビューなどにより単に自己表現するだけでなく、他者から引き出すための表現を模索し人間性を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	発声とは	正しい発声のために	a:正しい発声のための理論とスキルを習得する。 b:スキルを自分に合った使い方で活用する。 c:粘り強く習得にトライしようとしている。	スキルテスト	相互評価とディスカッション	授業観察
	アナウンス(Ⅰ)	アナウンスの技法①	a:母音の無声化、プロミネンス、鼻濁音の習得 b:　スキルを自分に合った使い方で活用する。 c:粘り強く習得にトライしようとしている。	スキルテスト	相互評価とディスカッション	授業観察
後期	アナウンス(Ⅱ)	アナウンスの技法②	a:アクセントの習得 b:スキルを自分に合った使い方で活用する。 c:粘り強く習得にトライしようとしている。	スキルテスト	相互評価とディスカッション	授業観察
	アナウンス(Ⅲ)	インタビューの技法	a:話題の構成方法を習得する。 b:フリートークの原稿作成を通して、思考力を高める。 c:試行錯誤して粘り強く考える態度を身に付けようとしている。	スキルテスト	相互評価とディスカッション	授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度